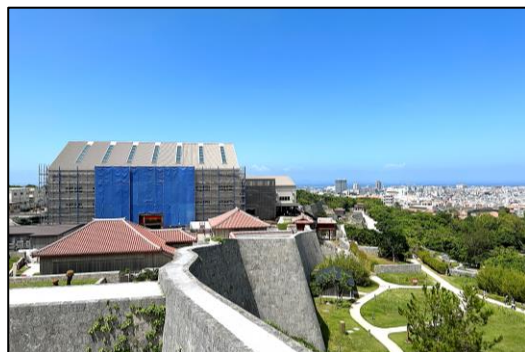


第2次案内(最終案内)

令和5年度九州小学校社会科研究協議会
沖縄大会実行委員長 金城 和也

第57回 九州小学校社会科研究協議会研究大会
令和5年度 沖縄県小学校社会科教育研究大会

沖縄大会のご案内



↑復興中の首里城と那覇市街。今しか見られない景色です。
(令和5年9月撮影)

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。沖縄県小学校社会科教育研究会では発足以来、常に子どもに身近な「地域」に学ぶことにこだわり、子どもの主体性を発揮させる社会科学習の研究に努めてきました。そして、予測困難な時代だからこそ、苦難の経験を経て形成された「命(ぬち)どう宝の島」の思いを主題の柱にすえ、地域にこだわり、地域に学びながら、より大きな社会を思考する中で、「未来を拓く子ども」を育てていく社会科学習を目指しております。沖縄県の社会科を九州各県の先生方に紹介して参りたいと考えています。大勢のご参加をお待ちしています。

「大会主題」

ぬち

『命どう宝』の島から共に未来を拓く子どもを育てる社会科学習

— 地域を見つめ、社会に向き合う学びをつくる授業 —

【大会概要】

開催日 令和6年2月2日(金)

- ◆午前 全体会 大会主題提案・指導講評・記念講演 (受付開始8:30) 9:00～11:30
- ◆午後 研究会 学年別課題研究会・公開授業・授業研究会 12:30～16:45
- ◆会場校 那覇市立仲井真小学校(沖縄県那覇市仲井真173番地)

【指導講師】 ◆全体会指導講師

早稲田大学教育・総合科学学術学院教授 小林宏己先生

【記念講演】 琉球歴史研究家 上里隆史先生

【大会主催者】 九州小学校社会科研究協議会 沖縄県小学校社会科教育研究会

【後援】 沖縄県教育委員会 那覇市教育委員会
糸満市教育委員会 北中城村教育委員会
沖縄県小学校長会 那覇地区小学校長会



【研究概要】

研究主題

ぬち
『命どう宝』の島から共に未来を拓く子どもを育てる社会科学習
ー地域を見つめ社会に向き合う学びをつくる授業ー

めざす子どもの姿

共に未来を拓く子ども

自らを取り巻く社会環境につながる学びを豊かにし、その中で
社会と関わる資質・能力を進んで身につけていく子ども

社会を拓く

社会的事象について、身近な地域と他地域（市町村、県、国、世界）との比較を
通して考えたり、社会的に見られる課題をつかみ、それに関わる人々や共に
学ぶ仲間との対話を通して、様々な立場から多角的にその意義を捉える子ども

人を拓く

身近な「人・もの・こと」に具体的に触れ、その地理的環境
や我が国の歴史や伝統と文化、仕組みや働きなどに
気づくとともに、それらに関わる人々の思いや願い、
社会的意義に気づき、社会生活について理解する子ども

自己を拓く

これまでの学習をもとに、自分の生活やあり方をふり返り
見つめ直す中で、社会的事象について、よりよい社会を
考え主体的に問題解決しようとする子ども

研究の視点

単元デザイン

- ・単元構想図
- ・発問

評価

- ・資質・能力を育てる
評価規準の設定
- ・子ども自身による
ふり返りの工夫

教材

- ・地域素材の効果的な活用
- ・地域素材の教材化

【大会日程】 令和6年2月2日（金）

8:30	9:00	9:30	10:30	11:30	12:30	14:00	14:15	15:00	15:15	16:45
受付	開 会 行 事	全 体 会		昼食 アトラクション	学 年 別 課 題 研 究 会	休憩・移動等	公 開 授 業	休憩・移動等	授 業 研 究 会	
		大会主題 提案 指導講評	記 念 講 演							

【学年別課題研究会】 12:30～14:00 ▼指導助言者および司会者等につきましては、大会紀要や当日の案内をご覧ください。

学年		県名	提案者	単元名等
3年	A	長 崎	長崎市立高尾小学校 教諭 谷口 智也	安全な暮らしを守る 「交通事故や事件をふせぐために」
	B	宮 崎	小林市立三松小学校 教諭 佐藤 華芳	畑ではたらく人びとの仕事、 安全な暮らしを守る人びとの仕事
4年	A	鹿児島	鹿児島市立向陽小学校 教諭 西原 真琴	風水害から暮らしを守る
	B	佐 賀	唐津市立相知小学校 教諭 井上 太晶	水はどこから ー「水を大切にする相知っ子プランをつくろう」ー
5年	A	福 岡	遠賀町立島門小学校 教諭 副田 貴史	大単元「国土の自然とともに生きる」 中単元「環境をともに守る」
	B	熊 本	熊本市立力合西小学校 教諭 織田 尚充	わたしたちの暮らしと水産業
6年	A	沖 縄	名護市立屋部小学校 教諭 當山 勇次	世界の中の日本 ー日本とつながりの深い国々
	B	大 分	日田市立光岡小学校 教諭 高倉 武司	武士の世の中へ ー命がけで元の大軍に立ち向かった大蔵氏ー

【公開授業】 14:15～15:00 【授業研究会】 15:15～16:45

学年	授業者	単元名等	指導助言者
3年	那覇市立城南小学校 教諭 伊藤 正紀	わたしたちの市の歩み ーかわる道具とくらし	名城大学 教授 嘉納 英明
4年	糸満市立高嶺小学校 教諭 東江 辰徳	昔から今へと続くまちづくり ー与座ガーのかんがい用水路	沖縄県立博物館・美術館 館長 里井 洋一
	那覇市立真嘉比小学校 教諭 玉城 政宙	わたしたちの県のまちづくり ー焼き物を生かしたまちづくり	琉球大学 教授 白尾 裕志
5年	那覇市立石嶺小学校 教諭 安田 浩哉	国土の自然とともに生きる ー環境をともに守る	沖縄県教育庁 生涯学習推進センター 社会教育主事 諸喜田 繁
6年	那覇市立仲井真小学校 教諭 野原 敏樹	世界の中の日本 ー日本とつながりの深い国々	姫路大学 講師 吉浜 幸雅
	北中城村立北中城小学校 教諭 嘉納 佳子	世界の中の日本 ー日本とつながりの深い国々	琉球大学 教授 山口 剛史

【申込について】沖縄県外から参加される方へ

- ◆大会への申込については、大会ホームページのリンクより、個人単位でのオンライン申し込みとなります。
(なお、申込業務に関しては、近畿日本ツーリストの支援を受けます。詳細はリンク先をご覧ください。)
- ◆大会参加費4,000円 別途希望により、お弁当の注文を承ります。弁当代1,300円
(お弁当の注文に関しては、事前申込となります。申込画面において、弁当希望の有無を選択してください。)
- ◆お支払いにつきましては、原則、申込時において、クレジットカード決済となります。
現金支払いや当日決済をご希望の場合には、問い合わせください。
- ◆大会事務局においては、沖縄/那覇空港および会場までの航空便等の交通手段の手配・案内はありませんので、各自でご用意いただくようお願いします。

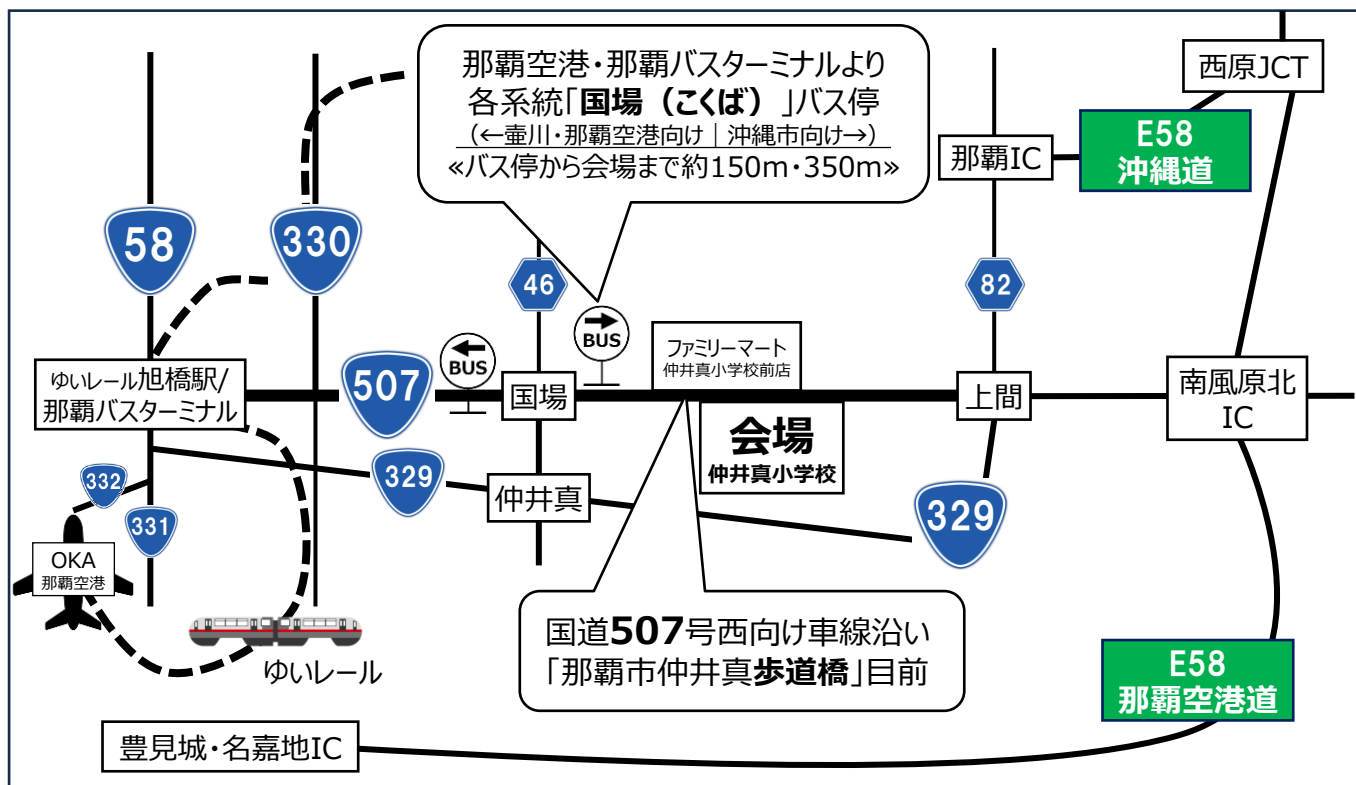
★申込〆切

令和6年1月23日(火)17時

までに申し込みください。



【アクセス概略図】



- ◆会場より那覇市街（ゆいレール旭橋駅/那覇バスターミナル・国際通り付近）までの道のりは約5km、那覇空港までは約8kmです。上記付近エリアから会場までの所要時間につきましては、朝は渋滞等のため、20～30分以上見積もる必要があります。
- ◆レンタカー等利用の場合、本校運動場を駐車場として開放しますが、収容台数には限りがあります。
大会事務局としては、タクシー利用を推奨します。乗り合わせの上、ご来校ください。
- ◆公共交通機関（ゆいレール・路線バス）やタクシーをご利用の場合には、最新の路線図や時刻表等、各自でお調べいただくようお願いします。

※国場バス停は、上記のほかに国場交差点南側（↓東風平・稲嶺向け）、県道46号線上（↑沖大アネックス向け）にもありますので、各自にてご確認ください。

沖縄大会公式LINEにて、最新情報をお届けします

【運営窓口】

沖縄大会実行委員会 委員長
那覇市立仲井真小学校 校長 金城和也
〒902-0074 那覇市仲井真173番地
TEL(098)917-3330 FAX(098)917-3370
e30-kocho@naha-t.nahaken-okn.ed.jp

沖縄大会実行委員会 事務局
那覇市立城西小学校 教頭 新垣清
〒903-0816 那覇市首里真和志町1-5
TEL(098)917-3304 FAX(098)917-3344
e04-kyoto@naha-t.nahaken-okn.ed.jp



最新情報をお届けします